



沖縄国際大学 FD通信

発行者：沖縄国際大学 教務部長（2011年12月26日）

1. 第4回FD研修会「本学における初年次ゼミ教育を学び合う」を開催しました —初年次学生の「書く力」を「どのように伸ばすか」が話題となりました—

12月2日(金)に「本学における初年次ゼミ教育を学び合う」というテーマで、2011年度第4回FD研修会(通算第7回)を開催しました。本研修会には、50名を超える教職員が参加し、初年次教育への関心の高さが伺えました。

地域行政学科、日本文化学科、人間福祉学科(心理カウンセリング専攻)の3つの事例報告や、参加者との意見交換を通じて、本学の初年次教育について学び合う場になりました。

意見交換では、「学生にレポートを課しても、内容が感想文にしかになっていない」の意見が寄せられたとき、参加者の多くが大きく頷く場面があり、どの学科も共通して、初年次学生の「書く力」をどのように伸ばすかという点に大変苦慮している様子が伺えました。

今回の内容は、次のとおりです。

1) 趣旨説明

初年次ゼミプロジェクトの目的、各学科の初年次ゼミ取組状況について(FD委員会副委員長)

2) 事例報告 1

「基礎演習 I におけるキャリア形成を見据えた文章力養成」(法学部地域行政学科)

3) 事例報告 2

「共通シラバス作成、ライティングセンターの設置、TAの活用事例」(総合文化学部日本文化学科)

4) 事例報告 3

「初年次ゼミにおける取り組み～「基礎演習の来し方行く末」～」(人間福祉学科心理カウンセリング専攻)

5) 意見交換

今回、参加頂いた方々の声です。

- ・学生の個人差にどう対応するのが課題と感じる。
- ・文章の「論理」を意識させるということは、読み取ること、書くことの土台としてとても重要だと思っていたことがズバリ話されていて、とても共感し参考になりました。(日本文化学科の事例から)
- ・単独の教員ではなく、学科単位で取り組む必要があるということが伝わった感じがしたのは良かったと思う。
- ・基礎力作りと同時に仲間づくりも重要だと感じた。
- ・先生方が初年次教育について、いろいろ熱い思いがあるということが感じられて、心強く思いました。
- ・学生の経験と照らし合わせた達成感を持たせることが重要だと感じた。
- ・どの学科も学生の「書く力」を課題と感じていて、初年次における書く力の到達目標の設定に悩みと葛藤を抱えていることが分かりました。

2. 【参加記】Q-Lab OD プロジェクトに参加して(呉屋賢剛・総務課)

7月～9月にかけて行われたQ-Links主催のODプロジェクトに参加した呉屋賢剛さん(総務課)から、参加記が届きました。

「今回のプロジェクトをとおして、コンフリクトが起こるときの組織の状況(システム、時期、人間関係 etc)の把握とその後の対処法が如何に重要かについて考えさせられた。講演の中でゲストの木下富雄氏(京都大学名誉教授)が触れておられたが、コンフリクトを体験したくないのなら人生を終わらせるしかない、しかし人類の歴史はコンフリクトと共に成長しており今後も絶対に無くならないという言葉が印象的であった。だからこそ、私達はコンフリクトと上手に向き合い、むしろ貴重な経験としてそれを利用し、そこで得た問題解決方法がその後の組織の財産となるよう努めることが重要であると感じた。」

